

1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2893300190		
法人名	株式会社ケアマインド		
事業所名	グループホーム そら森本		
所在地	兵庫県伊丹市森本8-66-1		
自己評価作成日	令和8年1月14日	評価結果市町村受理日	令和8年3月2日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/28/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2893300190-00&ServiceCd=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人ば・まる
所在地	堺市堺区三宝町二丁131番地2
訪問調査日	令和8年2月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>感染症(新型コロナウイルス、インフルエンザなど)の影響により、施設内での行事を実施していますが、近隣との交流を継続するため、町カフェやイベントの参加を積極的に行っています。伊丹空港が徒歩圏内にあり、運動レクリエーションとしてスカイパークへ外出をし、運動機能の維持向上や気分転換にも繋がっています。季節ごとにイベントを実施し、その様子を家族様に報告(LINEや請求書の郵送時に写真を送付)しております。施設内での感染症状況など随時把握し、面会制限も緩和して対応しています。</p>
--

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>季節や行事のイベントを大切にされており、日常とは異なるレクリエーションと共に、手作りの、季節にちなんだ料理やデザート、利用者も一緒に作る等、季節を楽しめる場面になっています。毎月のイベント・行事以外にも、毎週日曜日は、利用者参加型のレクリエーションが行われており、食事レクリエーション等、利用者が一緒に楽しめる内容で展開されています。レクリエーションには、家族等が同席する場合もあります。家族等との外出・外食・外泊等も再開されており、利用者・家族等と一緒に楽しめる機会が拡充されています。利用者が外気に触れる機会を確保出来るよう留意されており、施設周辺や近隣公園等への散歩が行われ、利用者が体を動かす機会にもなっています。施設敷地内での菜園活動にも利用者が携わっています。毎月行われている、地域活動の地域カフェへの参加があり、利用者も一緒に参加しています。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求め ていることをよく聴いており、信頼関係ができてい る (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域 の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および第三者評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の実践に向けて、日々の業務にあたっており、掲示することで意識の共有を図っている。	法人理念を基にした、施設独自の取組や考え方が明示されており、利用者が楽しく安心してすごせる、生活の場を提供できるよう心がけられています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的な交流は図れていないが、近隣の施設(お寺、公民館)を利用した交流やイベント参加をしている。	地域活動の地域カフェへ、毎月参加されており、利用者と地域住民との交流の場になっています。併設の小規模多機能型事業所利用者との交流機会が持たれており、地域からの利用者との交流や、小規模多機能型利用者による娯楽提供等も行われています。地域に向けた、イベントや施設機能の解放等が予定されているところです。	地域全体との関わり方や、貢献の仕方の多様化、拡充に期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会の交流会に参加して認知症や介護が必要な方を理解してもらえるようにしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度運営推進会議を実施しているが、新型コロナウイルス以降は紙面での会議を実施しており、第三者評価や家族様からの意見を元に報告内容の変更等も含めて報告している。	地域包括支援センター・自治会長・民生委員・家族等の参画があります。参加者を拡充した、対面開催が予定されているところです。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域密着型サービス事業所連絡会にて意見交換を実施している。FAXでの質問事項もあるため連絡事項はFAXしている。	運営推進会議を中心に、地域包括支援センターとの情報共有・情報交換が行われています。利用者の生活面を支える、行政との協力関係があります。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。身体拘束委員会を設置し、法人全体で情報の共有を実施。事業所にて年4回の勉強会を実施している。	法人全体として、年4回の拘束にかかる適正化委員会の開催と、研修が行われています。	

自己 評価	第三 者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の防止の徹底に取り組んでいる。虐待防止委員会を設置し、法人全体で情報の共有を実施。事業所にて年4回の勉強会を実施している。	法人全体として、年2回の虐待にかかる適正化委員会の開催と、研修が行われています。	
8	(7)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年間の研修予定に組み込んでおり、制度の理解を図っている。玄関カウンターに成年後見制度の書類を掲示している。	施設内研修等を通して、利用者の権利擁護を大切に出来るよう心がけられています。	
9	(8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に確認をしながら説明を行っている。質問や不明点がある場合は、後日でも連絡をしてもらうよう依頼している。	事前の見学と現地説明を踏まえた上で、ニーズを含め、利用目的が合致できているか等の話し合いと確認を行ない、契約へと繋がられています。	
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関カウンターにご意見箱を設置している。面会時に施設での様子などをお伝えし、対応について意見を求めている。身体、精神状態の変化がある入居者に対しては、都度電話連絡をしながら家族との連絡を図っている。	利用者の思いを大切にされており、利用者の意向を基に、食事レクリエーションの内容や展開に繋がられた事例が確認できました。	
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談やフロア会議を実施している。その際に意見を聞いている。	毎月の会議や、年2回の個人面談等が、意見を表出できる機会となっています。毎月の施設イベントは、職員主体で開催されており、実現までの具体的内容を職員が担い、利用者の意向も踏まえた楽しめる場となるよう努められています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年人事考課を実施。勤務状況に見合った処遇改善を行っている。		

自己 評価	第三 項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップ出来るように、各研修への参加を促している。施設内で介護技術についての勉強会も実施している。		
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス事業所連絡会にて意見交換を実施している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人のニーズを聞き出し、解決に向けた支援方法を導き出している。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス導入前に家族の思うニーズを聞き出し、生活の質の向上に反映できるように努めている。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ニーズの優先事項を明確にし、対応を実施している。		
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	これまで本人が行ってきたことが、継続できるよう支援し、家族等、協力して行える環境を目指している。		

自己 20	第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	生活状況を報告し、家族も一緒に関われる環境、時間を確保している。		
20	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設内の感染症状況なども踏まえて、面会希望がある場合は、断ることなく、来所して頂いている。	家族等との外出・外食・外泊が再開されており、利用者が施設外で楽しめる機会が拡充されています。旧知の知人・友人等との交流・面会もあります。電話による交流の支援も行われています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が仲介役となり、フロアの入居者同士の交流を図れるように支援している(レクリエーションなど)		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も家族からの要望には対応している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意向や希望を反映した支援に取り組んでいる。表出の困難な方に対しては、職員間で支援方法などを検討している。	利用者の意向や言葉を担当者から、計画に繋げられるよう共有に努められています。利用者の生活維持に留意されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしの延長となるように、生活歴の把握とサービスの提供に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録や申し送りで情報共有を実施している。現状把握に努めている。		

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の状態から計画の見直しについて職員間で意見の交換を行っている。医師や看護師の意見も反映し職員全体で計画作成に携われるように努めている。	毎月の担当職員が把握した状態確認を基に、計画作成担当者が検討されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を記録に残し、必要に応じて申し送りノートを活用している。状態変化が見られた場合は、職員間で検討し、計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	要望があった際は、可能な限り対応している。対応困難な場合は、理由と代替案を提供し取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	参加希望などあれば確認、促しをしている。		
30	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医による訪問診療を受けている。週1回歯科衛生士による口腔ケアを実施。協力医の指示があれば他院受診し、適切な医療を受けられる環境を確保している。	かかりつけ医は、利用者の意向で決定されています。毎週、施設による訪問看護の健康チェックが行われており、協力医療機関と訪問看護の、24時間の電話対応体制もあります。毎週、歯科医師または歯科衛生士の訪問があります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回訪問看護師が来所。健康管理についてのアドバイスを受けている。		

自己 第三	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32	(15) ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医院に入院設備があり、入院時は常に連携が取れている。	入退院時には、必要に応じた情報共有・情報交換が行えるよう努められています。カンファレンスが開催される場合には、管理者・介護支援専門員が参加し、退院後の支援に結びつけられるよう留意されています。	
33	(16) ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に意向確認、事業所の方針を伝えている。家族の意向が変わる可能性もあるため、状態変化があった場合は都度確認している。	指針が策定されており、利用開始時に説明が行われています。利用者の意向と希望を踏まえた、看取り対応が実施されています。	
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時の対応について、情報統制が取れている。対応方法を明確にし、判断できる職員に連絡するように伝えている。		
35	(17) ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を実施し避難経路の確認を行っている。災害時には近隣住民に施設を開放している。	BCP(事業継続計画)・防災計画マニュアル・非常災害時対応防災マニュアル等に沿った、訓練を意識されています。夜間想定の内容も含まれています。飲料水等の備蓄品が用意されています。法人全体としての備品・消耗品備蓄等も準備されています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	(18) ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	丁寧な声かけを指導しているが、慣れから言葉遣いが崩れている職員もいるため、接遇の研修会を実施し向上に努めている。	利用者の尊厳を損ねることないように、言葉使いや接し方に留意されています。必要に応じて、職員会議での振り返り検討が行われています。	
37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に意思確認を行ってからケアを実施している。表出が困難な方には、伝わりやすいように努めている。		

自己 第 三	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴は施設の時間軸で実施している事がある。その他の生活動作については自由に実施してもらっている。		
39	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望があれば、衣服など更衣の際に選択してもらう。整容についても、乱れがあれば声掛けをに対応している。		
40	(19) ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は外部業者に委託しており、季節の分かるメニューもあり充実している。おやつレクなどにて、旬の果物を提供したりしている。片付けに関しても、可能な方は率先して行ってくれている。	利用者個々のペースを踏まえた、食事介助を心がけられています。行事食・食事レクリエーション等、利用者と共に、楽しみながら調理する機会があります。	
41	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量や食事は個人のADLに応じて対応しており、摂取量など記録している。		
42	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを促しているが、拒否がある方もおられる。毎週歯科衛生士の訪問の際に口腔ケアを実施しており、状態把握を行っている。		
43	(20) ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の能力を把握し、安全にトイレ動作が困難な方は終日オムツ対応になっている方もいる。できる限り、トイレでの排泄を促し、状態変化の把握に努めている。	トイレでの排泄が継続できるよう、職員介助が行われています。言葉がけや誘導等、利用者が羞恥心を抱かないよう努められています。	
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘時には、頓服の下剤を服薬している。往診時に状態を報告し、適宜処方の変化に対応し、便秘の解消に努めている。		

自己 第 三	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(21) ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は施設の都合で週2回は必ず入浴していただくように支援している。ADLに応じた浴槽を使い分けている。	予定入浴が基本ですが、利用者の意向や体調等を踏まえた、柔軟な対応に努められています。簡易型機械浴のを活用し、湯船をまたげない方でも湯船につかれるよう配慮されています。	
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	21時消灯となっているが、眠れない方には職員が付き添ってリビングで過ごしてもらうなどの対応を実施している。		
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員には服薬情報のファイルを作成し、フロアで管理している。飲み忘れ、違いが起こらないようダブルチェックを実施している。		
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	余暇時間は各自自由に行動して頂いている。要望があれば、検討し実施している。		
49	(22) ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節、天気の良い日には近隣の神社やスカイパークへ外出レクを実施している。外出の希望者を毎回確認し行っている。	家族等との外出・外食・外泊が再開されており、利用者が施設外で楽しめる機会が拡充されています。近隣公園や、地域サロン等への外出が行われています。	
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が可能な方は、お金を所持し、買い物レクの際に使用しててる。		
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話がしたい際などは、施設の電話を使用し支援している。携帯電話を所持されている方もおられる。		

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節によって、フロア内の装飾は変えている。過度な飾りつけは行わず、掲示板に貼っている。	共用空間は、利用者個々が、気分に応じて居場所を確保出来るよう配慮されています。季節感を感じられる装飾等に配慮されています。空間の清潔保持に留意されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い利用者同士、隣り合わせになるように配慮をしている。テーブル席やソファーには各自自由に過ごせるようにしている。		
54	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室への家具の持ち込みに制限はなく、好きなように配置して頂いている。希望に応じて介護用ベッドの貸し出しも可能。	入居時には、できるだけ使っていた家具等を持ち込み頂けるよう勧められています。写真や趣味の品等、利用者それぞれが、思い思いの物を持ち込まれています。居室内の配置は、利用者の意向を踏まえた、それぞれの配置となっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下など共有部分には障害物は置かないように配慮をしている。		